

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	21
2. 大学等名	長崎大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（399.5文字）
<p>長崎大学では、従来の「広いが浅い」教養教育から、「学士力という付加価値を実感させる」教育への大胆な変革を意図して、平成24年度よりモジュール方式の教養教育（全学モジュール）を導入した。モジュールとは、現代的テーマの下にパッケージされた科目群のことであり、学生は提供されるモジュールの一つを選択し、1年半の間、アクティブ・ラーニングを通して、汎用的技能の向上を目指す。その最大の特長は、教員と学生が学びの共同体を形成する点であり、新しい学び＝アクティブ・ラーニングを開発、進化させる絶好の環境を提供する。全学モジュールを担当する教員は、全教員の1/3に相当する300名に上る。</p> <p>本事業では、学長直轄の推進体制のもと、全学モジュールに重点化して、効果的・効率的なアクティブ・ラーニングの開発・進化・普及を図るとともに、学生の主体的学修と学修成果の可視化を実現することにより大学全体の学士教育改革の原動力となる。</p>	